

2015

里山ジュニアマイスター 養成講座

はじめに

現在の青少年育成の課題としては野外での活動や小集団での作業、五感を使うことなどが極端に不足しており、それがコミュニケーション能力の低下また体力や知力にも影響を与えていたると思われます。

当法人では、小学校を対象に森林環境教育に10年以上取り組んでいますが紙芝居や浸透力実験など室内での行事より野外活動の方が生徒の表情がいきいきとしている感じていました。

そこで、身近な里山林をフィールドに、樹木の観察や秘密基地づくり、薪割りなどの作業を行うとともにいろいろな遊びを通して、里山の知識や道具を使う技術、そして楽しみ方を身につけてもらう実践的な講座を平成21年度(2009年)から始めました。

このような少年少女里山マイスター養成講座は、平成27年度で7年目となります。今回、少年少女里山マイスターを一步前進させた、年齢対象を小学生高学年から高校生までとした「里山ジュニアマイスター養成講座」を実施しました。養成講座は、4月から9月の間で8月を除く5回実施し、以下その内容をまとめました。なお、受講生は、小学校5年生～高校1年生までの18名でした。



目次

- 講座の開催状況 P2～P4
- アンケート結果 P5
- 感想文 P6
- 講座の様子及び
受講生の内訳 P7
- 成果と今後の課題 P8



第1回講座

4月5日に、第1回の講座を開始しました。

講座の内容は、「ハチ取りペットボトル作り、森の散策と木登り、山菜採りと天ぷら作り、ロープワーク」などです。まずは、酒・酢・砂糖を配合した溶液を入れてハチ取りペットボトルを作り、山人の森に入り樹木に取り付けた。また、これから活動の場となる森の遊び場や見晴らし台を確認した。その後木登りの体験、高いところも大丈夫。昼食は、森の散策中に採った山菜をみんなで天ぷらにして食べた。午後はロープを使って基本的な結び方を学ぶロープワーク、竹笛やマイ箸を作るクラフトを実施。



第2回講座

第2回は、5月10日「曾根先生による動植物教室」が中心の講座。曾根先生の自然観察の指導を受け、「山人の森」の施設のある裏山のフィールドを巡って、葉っぱや葉っぱの裏側についている虫などを虫メガネや観察容器を使いじっくり観察。午後は、フィールドで採取した虫や植物をテーブルの上に広げ、皆で顕微鏡などで観察しスケッチした。その後会員の指導で、竹トンボや竹笛も作った。



第3回講座

6月7日の第3回目は、山で草刈りに使用する道具の鎌研ぎを行った。鎌研ぎは砥石を使って行い、研いた鎌で「山人の森」に入り、草刈りを実体験した。山の傾斜地での草刈りに受講生は苦戦していた。午後は、木工クラフトを実施。森の間伐で出た広葉樹の枝などを使用して、枝への彫刻や枝を組み合せての写真立てなどの工作を行った。



第4回講座

第4回の講座は、7月25日・26日の1泊2日の行程でのキャンプ及び剣山登山を行った。初日の25日は、徳島市内から中尾山高原へバスで移動。中尾山高原での「森のショーウインド散策」「樹木観察」、広場にもどり「木をたたえる詩」というネイチャーゲームを実施。また、明日登山予定の剣山の地図を使い、地図の見方・コンパスの使い方などを会員指導のもと座学で学習。その後、夕食のバーベキュー、食後の星空観察を行って初日は終了。グループ分けしてバンガローへ宿泊。2日目の26日は、朝食後中尾山高原を出発して剣山麓の見ノ越へ。見ノ越からリフトで西島へ。西島から登山道で剣山山頂へ。山頂付近で昼食後、ジロウギュウへの登山を予定していたが、台風の接近で剣山山頂は風が強く、ジロウギュウへの登山を断念して下山。見ノ越から徳島市内へもどり解散。この第4回の講座は、受講生及び保護者の評価が一番高かった講座でした。





第5回講座

9月6日の第5回の講座は「草木染め」。原料は「栗のいが」。「栗のいが」を胴鍋で煮詰め、その溶液に媒染液として「酸化鉄」を混入し、各自絞りなどを入れた細長い白のタオルを溶液に浸け込んで、一定の温度以上で維持しながら60分程度置く。溶液からタオルを取り出し水洗いを行い、干してある程度乾かして出来上がり。草木染めで出来あがったタオルの地の色はグレー。また、タオルを浸け込んでいる間「山人の森」に入り、間伐を実施。①「間伐する樹木の調査(密集度、太さ、など)」、②「間伐する意味を伝えた後に間伐し、枝の数や樹高を調べる」、③「枝を払い、皮をむき、適当な長さで切り、輪切りで年輪を数える」、などの手順で間伐を行った。



アンケート結果1

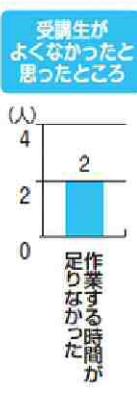
受講生は小学5年生～高校1年生の18名。少年少女里山マイスターと比べると年齢層が高いのがジュニアマイスターの特徴であり、今回の講座が初めての試みでした。

受講生の各講座の評価（5段階）は、全5回ともにおおむね高い評価を得ていますが、第4回講座の2日間かけてのキャンプ及び剣山登山が満点の評価を得ています。また、第5回講座の草木染めも好評でした。

受講生が、講座を受講してよかったですと思ったところとして（複数回答）、森の中で遊べ、キャンプ及び剣山登山、山菜の天ぷらを揚げて食べたりと、普段経験できないことを色々体験できましたことと回答がありました。

一方、よくなかったところとして、作業する時間が足りなかつたと感じている受講生がいました。

また、受講した子供全員がこれからも森の中での行事に参加したいと答えています。



アンケート結果2

受講生の保護者からもアンケートの提出がありました。保護者は、一緒に参加されておりませんが、子供たちの反応などから判断してもらいました。

各講座内容の評価（5段階）としては、すべて「4.5」以上の評価でした。受講生との評価の差は、ほとんどありませんでした。

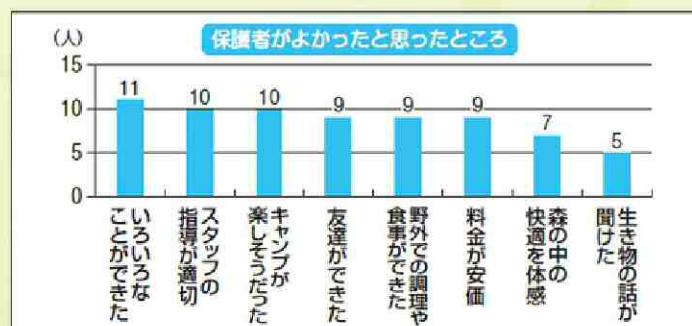
保護者がよかったですと思ったことは（具体的に）、受講生と同様に「色々なことができた」や「キャンプが楽しそうだった」と回答がありました。また、「友達ができた」と感じた保護者がいました。

一方、保護者がよくなかったと思ったことはほとんどありませんでしたが、「作業が難しいのでは・・・」と感じた保護者がいました。

受講前後での子供たちの変化についての問い合わせに対しては、7割の子供たちに変化が見られたと回答がありました。

また、「今後も参加させたいので、続けてほしい」又は「機会があれば参加させたい」と全ての保護者から回答がありました。

次に、工夫してほしい事柄（保護者より）として、「年間を通じた講座になればよい」、「新学期が始まる前の募集（新学期当初の予定が判らない）と講座開始時期（1ヶ月遅く開始）を検討してほしい」、「保護者も森のことを学べる機会が欲しい」、「活発な子に押されてしまう時があり、おとなしい子も楽しくできるように」など、あげています。



受講後に変化があった。その内容は

- これまで以上に自然に興味を持つようになった。
- 自然が好きになった様です。
- 4年前に里山マイスターを受講、今回のジュニアマイスターを受講。講座帰宅後にその日の内容を話してくれるのですが、以前より詳しく、そして楽しそうに力強く話してくれた。
- 積極的に参加するようになった（今まででは行かれていた感じだった）
- 社交的になった。
- 剣山へ登山したことをいろいろな人に話して少し自慢している。

感想文1

感想文1

この感想文は、里山での経験を記すための用紙です。右側には「里山」という題名が記されています。

感想文1

この感想文は、里山での経験を記すための用紙です。右側には「里山」という題名が記されています。

感想文1

この感想文は、里山での経験を記すための用紙です。右側には「里山」という題名が記されています。

感想文1

この感想文は、里山での経験を記すための用紙です。右側には「里山」という題名が記されています。

感想文1

この感想文は、里山での経験を記すための用紙です。右側には「里山」という題名が記されています。

感想文2 保護者

- 貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。5回で終わってしまうのが残念に思うくらいに子供は楽しかったようです。
- 半年間ありがとうございました。なかなか親だけでは体験させることのできないことばかりだったと思います。
- 大変お世話になりました。半分しか出席することができませんでしたが、普段の生活では体験できないことができたと思っています。
中学生くらいになると、なかなか親の言う事も聞かなくなっていますが、親以外の大人や、他の地域の仲間との体験を通して、視野を広げることもできたのではないかと思います。
- 里山での体験は、息子たちにとって大人になっても忘れない貴重な宝物になることだと思います。身をもって体験することで得られる生きた知識をたくさん授けていただいたことを、とてもありがとうございます。



講座の時間割

*第5回草木染め

- 9:30~9:50 オリエンテーション
- 9:50~10:40 草木染めの第一作業
- 10:40~12:00 伐採作業
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~14:40 草木染めの第二作業
- 14:40~15:00 ふりかえり・解散
- 15:00~16:00 片づけ、ミーティング

受講生の内訳

学年別・男女別人数

区分	学 年						計
	小 学	中 学	高				
男	3	9	0	2	1	1	16
女	0	2	0	0	0	0	2
計	3	11	0	2	1	1	18

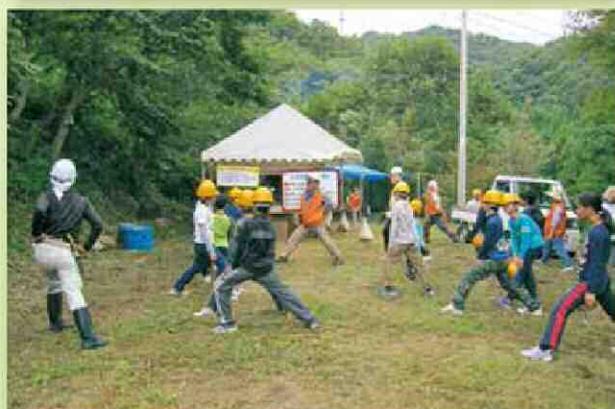
講座のひととき



区分	徳島市	藍住町	石井町	小松島市
人数	12	3	1	2

*受講生の男女比は男子が圧倒的に多く、女子は1割でした。学年では小学6年生が多く、もう少し中学生以上の受講が欲しかった。

*受講生は、大部分が徳島市からの参加で、藍住町や石井町など近隣からの参加も散見されました。



講座の成果

里山ジュニアマイスターは今回が初めての開催で、1泊2日の「キャンプと剣山登山」、「草木染め」など、5回の講座を開催。受講生の当日の反応やアンケート結果から、おおむね好評であったと推測しています。

講座の成果としては、里山の中での遊びや作業を通じて子どもたちが本当に楽しそうに、そして生き生きとした表情をしていたことなど実感しました。このことは、会員の活動意欲の向上や自信にもつながっています。



今後の課題

課題としては、①講座内容の充実、②スタッフの確保。③保護者参加講座の検討などがあります。

今後も、しっかり打ち合わせを行いながら、より充実した講座を継続して行っていきたいと思っています。

「森の案内人ネットワーク」とは、

森林での自然観察やレクリエーションの指導、森林のしくみや

働きの学習、森づくりボランティアをする人の仲間です。

設立のきっかけは、徳島県が開催した「森の案内人養成講座」で、

その受講生などが主なメンバーですが、

活動の主旨に賛同される方を広く募っています。

この事業は、日亜ふるさと振興基金を活用しています。